

上越地域「新之助」情報便 No.6

令和7年7月17日
上越農業普及指導センター

葉色が淡いほ場は、早めに穂肥施用！

1 生育概況

- 5/15 頃田植の平坦地では、草丈はやや長く、茎数、葉数、葉色は指標並みですが、ほ場間差が大きくなっています。特に葉色はかなり淡いほ場も見られます。
- 平坦地の幼穂長は1mm程度で、幼穂形成期を迎えています。

草丈：やや長い 茎数：並み 葉数：並み 葉色：並み

調査場所		田植日	草丈 (cm)	茎数 ㎡当たり(本)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
<平坦地指標>			63	568	12.3	34.0
上越市下稻塚	平坦地	5月16日	68	653	12.7	35.0
大潟区吉崎	平坦地	5月15日	65	464	12.5	32.8
<中山間指標>			65	568	12.7	34.0
安塚区坊金	中山間	5月27日	53	482	12.1	29.5

2 今後の管理

- 5/15 頃田植のほ場では、幼穂形成期は7/17頃、出穂期は8/7～8/9頃の見込みです。この場合、1回目穂肥の適期は7/18～21頃、2回目穂肥の適期は7/27～7/29頃です。施用量は1回当たりの窒素成分で1kg/10aがめやすです。また、葉色の淡いほ場では、早めに1回目の穂肥を施用してください。
- 今後も気温が高いと予想されるため、1回目穂肥は下表を参考に確実に施用してください。

表 適正な出穂期葉色に誘導する2回目穂肥施用量のめやす

穂肥2回目施用時の 葉色(SPAD値)	32.0未満	32.0以上34.5未満	34.5以上
施用窒素量(kg/10a)	1.5	1.0	0.5

- 幼穂形成期から出穂期にかけて最も水を必要とするので、飽水管理を継続してください。
- ほ場内をよく観察し、葉いもちが確認された場合は、直ちに薬剤防除を実施してください。

※農作業中はこまめな休息や水分補給等の熱中症対策をしてください。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当(電話025-526-9406)